明治三十一年七月十八日印刷
明治三十一年七月二十日發行

婦人衛生雜誌

第百四號

私立
大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本婦人衛生雜誌
第百四號
目次

講演

●呼吸換氣の注意　醫學士　丸茂文良君

●體育　ゲハイメル、メヂチナールラート、プロフェツソル、ドクトル、エ、ベルツ君述　文部省學校衛生主事　醫學士　三島通良君譯述

新潟支會講演

●身体の分限　若杉喜三郎君

衛生叢談

●區役所の衛生掛

●學校兒童發育取調

●理髮所と浴湯

●廣告數件

大日本婦人衛生雜誌
第百三號
目次

講演

●消毒法に就て　製藥士　田原良純君

●血清療法に就て　田代亮介君

衛生叢談

●姙娠心得草

●衣服の事

●痛風と急性關節僂麻質私との別

●姙娠に適宜の運動をなさしむるの良否

●フォルムアルデヒート瓦斯

●人体に要する食鹽

●東京府民の飲食する牛乳と獸肉

●寢室の注意

●健康と食物

●脂肪質の食物に就て

●質疑解答二件

●大日本婦人衛生會記事

●廣告數件

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◉七八月集會休會廣告

本會規則第十四條に依り七八月兩度の集會は例に依り休會致候間右御了承相成度候也

但婦人衞生雜誌は七八兩月共相變らず發行配布致候也

明治三十一年七月

大日本婦人衞生會

◉地方會員會費未納者へ廣告

每度八月は總會準備の爲收支決算會計帳簿整理の事に內定相成り居候間地方會員にして來八月迄の**會費未納の方**は是非共此際**來七月三十一日限**り本會事務所(下谷區練塀町四十三番地)宛至急御送附有之度此段及御請求候也

追而會費送附方は郵便小爲替にて**東京神田佐久間町郵便取扱所**へ拂込まれたし若し郵劵代用の場合には總て一割增とす

明治三十一年七月

大日本婦人衞生會

會計係

婦人衛生雜誌第百四號
（明治三十一年七月二十日發行）

講演

●呼吸換氣の注意

醫學士　丸茂文良君演説

私は演題未定でありまして、まだ腹稿も完全いたしませぬが、段々有益なる御話も有りましたし、且ツ時も遲くなッて居りますから一寸した事を申上て御免を願ひます一体今日は治療法の事に就て些か申上げ様と思ひましたが、是れはまた場合を見て申上ぐる事に致します、さて少し愚痴の樣で有りますが實は今日斯樣に衛生上の演説、及び醫學上の事を醫師でないものにお話して御解りになる樣にするのは誠に困難で有ります、其事を一言述べて序論として置きます、追ッて衛生上の事醫學上の事をも御話しやうと思ひます、兎に角衛生の必要　治療の要用といふ樣な事を述べるのは無益の事ではなからうと思ひます、殊に只今丸山君が實驗的の談話、實驗的の事をして示されましたのは、醫師でない御方が御聽きになるのは大へんに結搆な事で有りまする、けれども是れは非常に困難な事で、成るべく目の前に直ぐ解る樣にするのは結搆の事でございましたけれども、實に專門以外の御方に、專門の事の解る樣にするのは甚だむづかしい事で有ります。例へば天文學といふ學問が有ります、あれ等のことも我々醫師社會の者が聽れますと非常に大きな事でなんだか理が分りませぬとがありますたとへて見れば我々の

棲息て居る此非常の大なる地球から太陽迄はゑらい大きな距離で里數にしたら二千〇十四万里もある、かやうに大へんに遠くて光の樣な疾く來ますものでありましても八分十三秒懸らなければ太陽の光が地球まで來ないので有ります。なほ其他距離の大なるものを申せば、今申す太陽のごときは遠い中の一番近いのでありましてそのまた遠くにも太陽の如きものが澤山有ります。其中で一番我々の世界に向ッて近いのは「アルハーセンタウリー」と云ふ恒星である、此恒星より發したる光の地球に來るは三年半懸る……こんなことを言ふとあなた方は私が嘘を吐くと思ふでありませうが、決してさうでない、是れは立派な天文學者が調べたので、だん〳〵是れから調べて見ると殆ど其距離は、太陽と地球との距離の二十三万四千倍ある。(是れは八分十三秒を乗けて、ソレを一日二十四時間で換算をすると殆ど三年と若干の日數になるで)斯樣に大きな事を、其專門以外の人に解る樣に摸型を拵へて示すのは大へんにむづしいです、例之ば地球と太陽との距離を一寸か二寸の處に置いても「アルハーセンタウリー」の恒星の距離は二里も四里も隔てゝ置かなければならむ、而して其間には、あなた方が天を仰いで御覽になると見える通りいろ〳〵の星が殆ど數ふべからざる程ある、これを摸型にして解る樣にすると云ふことは、先づ到底出來ないと云ッて宜い。又鳥渡階行社に地球の摸型を置くと、一寸許の距離に太陽二三里の先に「センタゥリー」或は二十余里の先さに「カペルラ」と云ふ星を置かなければ比較が取れむやうな譯である。又地球の上にしても高處も低

地に在る、能く人が地球を橙や蜜柑にたとえて蜜柑の凹凸を見立ッて高い處をアルプス、ヒマラヤ山脈チベットに比しますが、もとより之を以て地球の高い低に見做すことは出來ないのです、先づ斯ふ云ふ様なものである。此大なるものに反して我々の專門の方で最も小なるものに注目せねばならぬ其れは何であるかと云ふに例へば我々の身躰に在る處の血液中の血球と云ふものです、是れはどの位ゐのものかと云ふに此會では生理の講義もありますから、皆様は談話も聽かれ、實物を御覧になッたことも有りませうが、斯様な圓形のものが有ッて、(圖を書いて示さる)ソレがいくつも並んで丁度錢を串に刺した様になッて居る、其直徑は非常に小さなものにして、○、○○七ミリメートルで有りまする、輙ち一メートルは三尺三寸にして、一ミリメートルは三尺の千分の一となる、其千分の一を復千に割ッた七故○、○○七ミリメートルと云ふものは、一メートルの百万分の幾かと云ふ様な小さなもので有る、又其厚さは○、○○一九即ち一メートルの百万分の二にも足らないので有ります。其他極めて小なる處の病原菌と云ふものがある、さう云ふもので有りますると倘は是れより一層小さいので有りまする。然るに此小なるものは如何なる有様であるかと云ふに、生活をし、繁殖をして段々蔓延して來ますれば竟に我々のからだを冒すと、斯う云ふ様になッて居る。斯くの如く肉眼を以ては見ることも出來ないものが、どうして此我々の五尺に餘る體軀を冒すことが出來るかと、皆様は考へらるゝかも知れませぬが、鳥渡假設をなし熟考をしたら直に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

御了解にありませう、彼の蚊や蚤や虱は人間の血液を吸ッて活きて居る、あなた方は蚤や虱ロ御存知ないかも知しらむが、爪の尖で潰せば直ぐに死んで了う少しも恐しくないものだがあれが非常に多くあると竟に人間を食ッて仕まう、（肉食動物に等し）今若し蚊が何十万も聚ッて來たら、忽ち人間は血液を吸ひ絞られて了う、我々の躰が大きく、蚊は小さく寡い故、たま〳〵止ッたものは潰して了うのです。此の事ば他日傳染病の御話のとき詳く申上たいのです）前に御話を致しまする通り、實にこれから二千十四万里もへだゝりて有らうと云ふ地球に一番近い則ち太陽の半徑は、凡そ九万三千九百里にして皆樣にも御覧の通り誠に小さく見えますが、實際學理上より測量をすると太陽は十八万餘里直徑が有ります、爾う云ふ樣な大なるものから致しまして、一メートル即ち三百を百万に分けたならば非常に小さいものに至るので有り尚は之れより幺微なる種々のものがありまするから、天文學者が、あなた方に摸型を造ッて、解る樣に御示しになることが出來にくいと同じに醫學上の事も、人間の細胞血球黴菌は斯樣なものであると云ふことを、充分御解になるやうにするのは甚だ困難で、又ソレだけの經驗をしなければ御解りにならむ方が却ッて尤と思ひます。是れをば成るべく了解することの出來る樣に、會得することの出來る樣にとして、丸山君の御演説の如く、實驗的の事を示し、統計、比較表等を示して懇切に述べらるゝのはなか〳〵容易な事ではない、殊に又直接には乳といふ人間發育の原素を斯くまで細く説明せられましたのは、實にあなた方に取ッて

甚だ結構なる御話でありました。ソレで私は立派な問題を揭げて、ソレに依ッて意見を述べると云ふことは今日は致しませぬ、けれども折角參ッたことであれば、いつぞや丸茂が斯う云ふ事を言ッたことも有ッたと御心附きになる樣な事即ち御存じの事を繰反して一二申上げて置かうと思ひます。ソレは外の事ではない、先づ此衛生會に於ては何處でも、誰れでも言ふ事であッてあなた方も幾度も御聽きになる事ながら第一には家を清潔にして空氣の流通をよくし、あまり日本の火鉢を澤山置いてはならぬ、ソレから病人の在ッた時分に病人の周圍を圍繞て多勢の人が列んで居ると、吸呼の力の充分ある處の健康者が皆良い空氣を吸ッてしまッて、肝腎の病人が吸ふべき空氣が乏しくなッて良い空氣を吸ふことが出來ぬ。又窒息と申して氣を喪ッて居る場合には、かく／＼の處置をしたら宜からう、所謂人工呼吸法又もう一歩進んで病氣等にて氣道の塞がる爲めに息をする事の出來ぬときは氣管切開をして遣るとか云ふ樣な事が至當であると云ふ事に就て一言しやうと思ひます

其事の正しき御講話は豫ねて生理の方で坪井君から御聽きになッて御承知でありませうが、なほ繰り返して人間の呼吸をする狀態を假設て簡單に言ふて見ればまづ人間の身軀と云ふものは、殆ど其處に在る暖爐或は人々の庖厨に用ひる處のかの昆爐の樣なものであると斯樣に御考へになると一番早く解る御承知の通り人間は食物を食べている／＼の經過を致して、不要物は竟に肛門より外に排泄せられます、又口の邊には呼吸をする處があつて、こゝを(鼻)通ッて咽喉に往き、續いてこ

ヽに(胸部に)肺臟と云ふものが有ります、デ我々は之を總稱して呼吸器系統といひます。又モウ一ツ別に全身に、ポンプ仕掛けで血を送る心臟なるものが有ッて、諸所に枝が分れて全身に血液が循環する樣になッて居る。ソレで食物が口から這入ッて來るところで(腸胃)ソレを消化調和して食滓は肛門尿道より排泄され、極く上等の滋養ある部分は吸收ッて血管血液の中に送り入れる此血の管から悉く全身に養分を與へ、循り環ッた處で、所謂炭酸と云ふものが血液中に出來て甚だ不潔なる血液となります不潔と云ふも炭酸を含有するに過ず、其不潔なる部分の血液が肺臟に往ッて、呼吸の作用に由ッて酸素を外より取り、再清潔なる血液となして、之れを心臟に送ります、言葉を換ゐていふと、畢竟肺臟で血液の洗濯をして良き血液となッたものは、心臟に返して遣ると斯う云ふのです。(以上黑板に圖を畫きて、それに依ッて說明せられたるものなり、)之れを煖爐に譬へ見ますると、先づ下の方にて孔が有ッて上の方に烟突が有る、ソレから此邊(下孔の上方)に石炭を入れる孔が有る、さうして石炭を入れると、此孔(下孔)より空氣が這入ッて石炭が燃ゐ、我々には煖を與へ、此處(爐中)に生じたる處の炭酸は煙となッて立ちのぼッて了う、而してあとに殘ッた灰は下の孔より取捨てられる、之を人間の身躰に當嵌めれば、丁度人間の呼出をするのが煖爐の煙筒から烟が出るのと同じで、又下方の孔より灰を取捨てるのが人の肛門より食滓を排泄するのと同じで有ます、其他此處(下孔の上にある孔)より石炭を投じて燃すのは、人間が食物を取るのと同じで有

ります、輙ち空氣を入れて燃やす處と煙出しと二ッを兼ねたのが我々の口で有ります、まづ簡單に申すと、人躰と云ふものは斯樣な有樣で生活の火餤を保ッので有ります、是れに就てはいろ〳〵證據なども有りますが、いづれ塲合を見て實驗をして御目に懸けることに致します、今日は只詺に述ぶるに止めて置きますが、我々が絶えず口から吐き出しまするものは、即ち炭酸と申して所謂躰内で燃えた滓で有ります。丁度煖爐に石炭を燃して煙が出まするのと同じ事であります。其證據は既に御覽にあつたかも知れませぬが、石灰といふものを水に溶解して、よく澄まして漉すと石灰水と云ふものが出來ます、其透明ある石灰水を玻璃の管からプク〳〵吹きますと透明なりし石灰水が溷濁致します。又或は燐火を附けて煙の發して居るのを石灰水の玻璃管中に投じてよく振り動しますと、やはり其水は濁ります、輙ち是れは炭酸石灰の此中に生じたる證據で有ります。斯樣な譯故我々のからだは一口に言ふと煖爐或は昆爐と丁度同じ樣な有樣であると云ふことを一ッ確めて置きます、ソレ故に若しも人間及總て生活する動物に食物も與へず、或は呼吸も出來ない樣にするのは、つまり煖爐に石炭も入れず、風も送らむのと同じである、煖爐に風も石炭も送らなければ忽ち冷めたくなッて死と同じくその用を爲しませぬ。人間も食物も與へず、空氣も與へざるときは忽ち死に到ります、譬へば皆樣も御實驗の通り昆爐の火の熾になりたるときは。危ないから雜巾などを突込みます、さうすると空氣が欠乏して火は消えて了ひます。ソレに反して口を開けて團扇で吹き

吹竹で吹き立てゝ益々風を送ると大へんに火が熾に燃えて、煮るとか燒くとか云ふことも出來ます。併しいくら風ばかり遣ッても始終石炭を投じて遣らなければ可かぬ、ソレと同じで人間のからだも食物ばかりを入れて風を遣ることが出來なかッたら、からだは冷たくなッて生活の焔は消えて了う、又空氣ばかりあッても、燃料とある食物に乏しければやはり充分に燃やすことは出來ない、つまり兩方無ければ生活の焔を保ッことは出來ぬので有りまする、さて其燃料は如何なるものかと云ふに、最前丸山先生の御話にあッた牛乳の如きは誠に良い燃料である、けれども其中には良いものも惡いものもあッて、牛乳あればなんでもかでも宜いと云ふ譯には往かぬ、譬へば炭にしても大俵で貫目も重く、代價も廉くありましても、中にいろ〳〵の混ものがあッて、石や木の葉などが塡めてあッてはなんにもならぬ、牛乳も米の磨汁や石灰などを交ぜ込んであッては決して良い燃料とはありませぬ、ソレ故に食物は撰びに擇んで良い物を用ゐるやうに氣を附けなければならない、その方の事に就ては丸山君から充分御話があッたから私はもはや言ふ必要は無い、只一方の空氣を入れて遣ることに就て御話をします。此空氣と云ふものは極く必要のもので、極く良い牛乳を飲んでも極く良い石炭を焚べても、空氣を送ッて遣らなければ不可ない内部には石炭を澤山に入れても、空氣の入るべき孔口を悉皆締めて、其上に雜巾を當てゝ空氣の入らぬやうにすれば煖爐は消えて了う、人間も全くソレと同じで、いくら滋養多きもの、美味あるものを食べても口と鼻とに濡れ紙

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

呼吸氣換の注意

を掩ひ、或は襤褸布を詰めたあらばお氣の毒であるが忽ち死んで了う。ソレに就ては學者が段々試驗を致しました結果に據ると、空氣はだん／＼述ぶる通り必ず無ければならむものであるが、少なくては役に立たない、牛乳も一定の養分が無ければ役に立たむ。ソレと同じで人一人が生活するには一定の空氣を要します。歐羅巴人の著はした書物の中には通例健康者居室は八百立方尺の空氣を要し、病人は千立方尺の空氣を要します、輙ち生活焔を保續する爲めに毎に是れだけの空氣を要します。ソコで此空氣がどう云ふ事をするかと云ふことは、既に御聽きになッた方も有りませうが、輙ち肺の中に吸ひ込まれた空氣は、身躰中を循環して不潔になッた血液に酸素を分與して清潔ならしめます、丁度牛乳配達が毎朝彼方此方に牛乳を配ッて往くやうに、赤血球は空氣中より酸素を取ッて來て入用の處に配達します而して酸素が炭素を結び附くのを酸化すると云ふ、或は語を換えると燒けると云ふ事、燃ゐることを酸化すると云ふのです、故に大きな火事があれば、大きな酸化作用が有ると云ふのと同じでありまする。言ひ換ゐれば。〇〇七七と云ふ樣な極く小なる血球と云ふものが全身を循環しまして、其酸素を分與しますと、酸素は炭素と化合して、所謂酸化しまして炭酸といふものが出來る、輙ち煖爐より發する烟と同じものが出來ます、而して肺臟に入り呼吸作用に由ッて炭酸を呼出して、更に良い酸素を吸收して復之を全身に分ちます、此れが爲めに空氣と云ふものが甚だ必要であるので御座います。又一方には此煖爐に薪炭を入るゝが如くに、始終か

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

らだの中に食物を送ッて居ります、而して其食物は能く消化せられて所謂乳靡管から吸收らるゝやうになッて居る、之れを解剖的に申すと、養分を腸胃から取つて、毛細管より一管即ち乳糜管に集まり靜脈をへて心臟に入り心臟より血液中に交ると、斯う云ふ譯であります、さう云ふ工合故、人間が食物を取ると云ふのは、煖爐の中に薪を入るゝのと同じで有ります。處で炭薪をいくら入れた處で風を入れて煙の出る樣にして遣らなければ可けないから上下に空氣の出入る窓を澤山開けて置く、空氣が充分に這入らないと炭薪が充分に燃ゆることが出來ず、人は生活することが出來ないと云ふ譯です、さう云ふ理由故自然に人のからだは煖爐と考へて居れば一向違ッたことはないので有ります。處で呼出しまするものはなんであるかと云ふに、前申した炭酸で有ります、此炭酸は役に立たぬ、勿論植物世界には必要のものであるが、動物に取ッては役に立たないのみならず毒である、此空氣と云ふものは何う云ふものから成立ッたかと云ふに、即ち我々に最大切なる處の酸素と窒素との二原素より成立ッて居る、そして此空氣の中には炭酸と云ふものが混じて居ります。さて其量はどの位ゐかと云ふに百分中酸素は二〇、九六位ゐ、窒素は七九、〇二炭酸は〇、二九乃至三四位ゐの割合で有ります、然るに多勢集合した處には此炭酸と云ふ毒物が比較的余計になります、既に此室なども是れだけ御列席になつて居る故炭酸は餘計其量を増して居るに相違ない。此事に就てペッテンコーヘルの報告に據れば通常の室内なれば空氣千分中炭酸は〇、五だけ存在し、爽快を

感ずる室は〇、五四乃至〇、七分位ゐで有ります。又病室は同じく空氣千分の中二、四位ゐ、演説室の如きは三、二位ゐ酒屋は四、九位ゐであると云ふことをいッた、ソレから演劇場の如く非常に多くの人が寄ッて、極く惡るい空氣にあると七、二位ゐの炭酸瓦斯を包含する、而して通例〇、七以上の炭酸瓦斯の存在する處は胸苦しく感ずるものであると云ふ事で有ります。此炭酸と云ふものは何であるかと云ふに、學問上より言へば烟……（水蒸氣等も多少含んで居るが）煙筒先より出づる煙、或はランプより燃え出づる油煙、（ソレ故に人間はランプノ油煙を吸ふときは、しばらくにして死に到りますと）まづ同じものといッて宜い。ソレ故に人間が此世に生活する以上は一定の空氣が必要、一定の量はどの位ゐかと云ふに少なくとも居室は八百立方尺或は千立方尺だけは無ければなりませぬ、是れだけの空氣が無ければ炭酸ばかり殖えて甚だ恐るべき害を蒙るに到るので有ります る、處で尚ほ學者の調べに依れば大人が一時間に呼出する炭酸はどの位ゐかと云ふに、ソレを試驗するには色々の方法が有ります、而して其例は〇、〇二二六立方メートルの炭酸を我々は一時間に呼出しつゝ有るので御座います、ソレ故に大人が住んで居るにはどうしても一時間に百十三立方メートルだけの空氣を要します（小兒六十立方迷の空氣）………一立方メートルが三尺三寸四方、即ち日本の數で言へば大約半間四方に當ります半間四方を百十三集めただけの空氣が無ければならむので有ります。小兒は凡そ一時間に六十立方メートルだけで宜い、（けれども是れは千分の〇、七より

炭酸の量の超加しない樣にするが爲めであつて、若しも千分の一だけ炭酸があつて宜いと云ふなれは、前に述べた量より少しは減じても宜い……是れだけの事を附會して置きますが、兎に角段々申した樣な譯故空氣は生話の焰を保つ上に最も必要である其事を綿密に學者が調べた報告が有ります。)

以上述ぶるが如き譯故、是れより申す二三のヶ條を之れに當篏めて御考へ下されば御解りにならうと思ひます。

先づ第一に室内を能く掃除して、清潔にし空氣の換通をして載きたい我々の居宅の樣な粗造なるガタピシした隙間だらけの家はそれほど空氣の換通と云ふことに注意しないでも宜しい樣なものであるが、襖の立附壁の構造等も堅牢なる家に於て、戸障子を締め切ツて、内では火を赫々と起して加ふるに多勢の人が這入ツて居ると、竟には窒息して了う、斯う云ふことの無い樣に時々開けて氣を換えなければ可けませぬ。御承知の通り炭酸といふものは量の重いもので有りますから一方のコップから一方のコップにあけやうとしますると、丁度水を注ぎ込む樣にあけることが出來ます併し眼には見えませぬから炭酸であるか無いかと云ふ事を見るには、其中に燧火を容れると火が消えますから直ぐに解ります。此炭酸といふものは重くて下に沈澱しまするが、又自然の作用で、空氣中に彌散して了ひます、東京の樣な處でも炭酸の量の田舍と左程に違はないのは彌散作用に由ツて混ッて了うからで有りますソレ故室内も時々掃除をすると好い工合に混ッて了ひます。即ち彌散作用を

助けます。ソコで火鉢を置くのが宜くないと云ふのは火が燃えるに我々に必要なる處の酸素を取ッて了ひますソレ故空氣の流通しない室內の中央に火鉢があると、だん〳〵酸素を取ッて燃ゑ、酸素が無くなると火も消ゑて了う、斯う云ふ室內に人が這入ッて居りまするど、火の消える前に人も窒息して仕舞ひます能く世間に古い井戸土藏或は古寺などに發化物が出て往ッた人が氣絕して其儘疵も負はずに死んだと云ふ樣なことが有る、是れは即ち炭酸中毒の爲めに斃れたのであると說き明した人が有りますが、これは如何にも適當なる說明と思ひます、ソレ故火鉢を澤山に室內に置くのは寒さを防ぐには宜いが空氣を不潔して可けませぬ。淸潔法は此他病毒も消散します、(詳きことは他日にゆずる)次には看病に就て申します、小兒などを看病しまするのに多勢の人が寄ッて居るのは實に御氣の毒千萬である、是れは語を易へて申せば、なんの事はない、其小兒を多勢で縊り殺すやうなもので有ります。何故なれば病人には千立方尺の空氣を要すると云ふにも拘らず多くの健康者が幾つも頭を揃へて居ると、折角病人が吸はふと思ふ良い空氣をば、皆此人々が取ッてしまッて呼吸力の弱ッて居る病人は惡しき空氣のみを吸ッて、益々窒息衰弱に陷ります殊に小兒など周圍をめぐりめぐッて居るのは、縊り殺すも同じで有ります。殊に病氣見舞に往くと、あればどう云ふものか知らぬ誰れでも皆病人の顏色を見ないと間の惡るいものと見ゑて、必ず病人の枕邊に寄る而して病人が苦んで來るとなほ〳〵多人員傍に寄ッて居るのは一向理が解らぬ尙は苦める樣なもので

呼吸氣換の注意

す、醫師を五人挽で引張ッて來る時分には、多勢の人がみな傍らに侍ッて病人の顏色ばかり見て居る、是れは甚だ無益なるのみならず病人の爲め却ッて宜しく有りませぬ。併ながら只寄ッて居るのはまだ宜しいが、上流の家で夜間御伽ぎを致す、寒い時分には四方をキチント締めて、家令家扶御次の者等ソレ〳〵順序があッて伺候して居る、さうして其人々が一人毎に火鉢を抱へ込んで彼處にも此處にも火を赫々と起して居る、……斯う云ふことをするのは肝腎の內に在る病人には氣の毒千萬ながら、首を縊ッて殺すも同前、假令殺すまでに至らずとも窒息させる恐れが有ります、是等の事は自ら病人を見舞うとき、又或は自宅に病人のあッた時は能く注意してお貰ひ申したいのです。

又病人に着物を澤山着せ、或は夜着を澤山に掛けると云ふのも宜しく有りませぬから程能くしなければならぬ、勿論我々の着る樣なゴッ〳〵したものでないにしても、いかに軟くとも十枚も二十枚も載せれば隨分重くなッて手足を自由に動すことも出來ない樣になります先比もたしかベルッ氏の診察せられたものであつたと思ひましたが小兒を抱きて診察を受けに來たが、其子は何處に居るか解らないが處が衣服を一枚宛解いて見たらやうやう中から小さな赤兒が出たさうして、其着物は都合十二三枚着せてあつたらうと云ふことであるが斯う云ふことをされる小兒は實に可哀想で仕方がない、着せてある衣服はいくら美しく淸潔であつても然う法外に澤山着せるには及ばぬ、ソレよりは垢さへ附いて居らなければ宜しいから木綿でもなんでも適宜に着せて置くのが宜いので有ります

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

爾う云ふ様な事をして下すッては甚だ困るので御座います。殊に窒息せんとする様な病人に胸或は腹部に強く帶をしめるとも甚だわるいそれから醫師の手に渡つて氣管切開をするときに心得て戴きたいことが有ります。我々の口は胃の方に通う道と、肺の方に往く道と有ります、然るに空氣を吸ふことが能はざる障碍のあるときは不得已喉に孔を穿けて管を挿め肺（不潔の血を洗ふ所に）に空氣の通ずる様にします、之を氣管切開と云ひます是れは血を見なければならぬから大抵は厭がるが、是れも醫師が切開術を施さなければならぬと云ふのは、慰みでするのではなく、理由が有ッてするの故大体の理を了知して居ッて事機を過らぬやうにしなければならぬ。

又人工呼吸と云ふことが有りますが、是れも心得て居らなければなりませぬ、窒息した者の手を上げ、或は脇腹を壓して人工呼吸法を施すといふのは大切のことであります。隨分危險なる場合に其處置の宜しかッた爲めに助ッたと云ふ例はいくらも有ります、小兒が團子などを咽喉に支へて危き時に母親が指を入れて引出して助ッたり或は實扶埃里亞で窒息をしたときに人工呼吸をして稀に助くることが有ります。此間も實扶埃里亞で窒息した處の小兒に人工呼吸をした處が、其様を見るに堪へないで、傍らの母親が「モウ是れまで手を盡して戴けば死んでも致し方がないからモウ澤山でございます」と云ふのを強て施して遂に活き復らせることが出來た、ソレで丁度三日ばかり前「あの時に放抛ッてしまつたらソレまでゞあつたを今は幸に快復することを得たといッて喜んで居り

ます。

デ今日私の御話したことは我々の生活焰を保つには空氣と云ふものが最大切である此空氣の不潔にあらぬ樣に注意するのが必要であると云ふにあります、倘又場合を見て實驗的の談話も出來ませうと思ひます、終りに臨んで、どうか火鉢に御注意あらむことを願ひます、又あまり小兒を取扱うのに先程陳べた樣に大事がるは却ッて苛める樣なもので有らうと思ひます。

●體育（三島醫學士の承認を經て載す）

ゲハイメル、メヂチナールラート、プロフェッソル、ドクトル、エ、ベルッ君述

文部省學校衛生主事醫學士三島通良君譯述

諸君　日本體育會の依囑により余は爰に一場の講演を爲さんとす。然るに余は到底日本語をて以て之を述へ得るほと之に熟し居らさるにより獨逸語を以て之を述へさるへからす、然るときは勢ひ多數なる諸君の倦怠を來たされんことを恐るゝにより三島醫學士に依賴して余の説の代演を請ふことゝせり乞ふ諒せよ諸君。余は爰に日本體育會の爲に、余の體育に關する説を述ることを以て名譽とす。尤も、余は既に二十年來此か必要を認めて、絶へす本件に關する注意を怠らさりしことを以て自分の大なる喜悦となす

余か本邦に渡來したる當時の學生を視れは、概ね皆虛弱にして年々肺結核若くは窒扶斯の爲に死去する者亦決して尠なからさりき。當時日本に於ては、一種、殆んと病的の希望を有するもの多く、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其希望たるや、成るへく少許の時間に於て、成るへく多くの事を學はんとするにありき。之を換言すれは、高度の氣壓を以て、學問を頭顱内に壓入せんとするものに似たり、爰に於てか身體の存在腦髓の關係、健康にして新鮮なる血液の必要なること等を、全く失念し、殊に身躰にして虛弱なるに於ては、到底前の希望に應すへきほとの血液を供給し能はさることをも失念せり。

人體を肥さんと欲せは、未だ決して飲食するを以て足れりとなすへからす、必す血液の循環をして活潑ならしめん爲、充分なる運動を行はさるへからす、然らされは決して食物の消化を望むへからさるなり。殊に日本食を消化せしむるは洋食を消化せしむるよりも尙餘分の運動を要すへし。看よ、日本に於ける活潑に勞働するところの下等人種は、上等社會の人より遙に强壯なるにあらすや、是れ蓋し歐洲に於ては全く反對なる現象を呈する事項なり

此の如く單純なる明證すら、日本に於ては之を知る者少なし、爰に於てか、余は最初より、各模規大なる學校に於ては、雨中體操場を設くるの必要を唱へ、以て生徒か、雨天等の日に於ても亦能く體育を行ひ得へきことを說きたり。然るに、他に卒先して、此か模範を示すへき、帝國大學すら尙ほ未た雨中體操場の設備をなさゝるか如きは何そや

今を距ること二十年以前に於て、余は體育の必要を論し、(學生大學の學生)に對して、體操、擊劍、柔術艇力を奬勵せんとしたるとき、同僚なる教授間に於ては、之を以て全く不必要なる意見とな

して、遂に余の說を採用せらるゝに至らざりき。當時擊劍の如きは、頭部に危險を及ぼすべしとの謬說なきしにもあらざりしにより、余は躬から之を習得して、以て其說の誤りを正したることあり

然るに、體育に對する考も、其後漸次好況を呈して、今や全國之に對する嗜好の徵が現はすに至りしとは云へども、尙ほ各學校に於ける、發情期後の生徒の大多數に於ては、未だ體育の道を講ぜられざるなり

尤も、一二の高等なる學校に於て、體育を奬勵したるものは、其効甚だ顯著あり、例へば學習院生徒の如き、之を十五年以前のものに比すれば、愕くべきほど强壯となれるにあらずや

上述の如き次第あるを以て、日本躰育會たるものは、玆に一の大なる職責を有すと云ふべし、即ち國なるものは、其國民の强壯なるに於て始めて將來企望を達し得べしと云へることを、一般の人民に說明することと之なり。尙ほ其一家の主人に對しては、彼にして永く其家の繁榮を望まん者は、必ずや强壯なる子孫を要するものなることを、會得せしめざるべからざることと之なり

倂し乍ら、人民をして、單に體育の必要を知らしむと云へるのみを以ては、未だ滿足すべからざるあり、即ち之をして體育を好み、體育を悅ばしめざるべからず。何人と雖ども、一回身體運動の爲に得たる、愉快の感じを覺えたるものは、必ず之を續行すべけれども、尙ほ亦他人をして、此愉快を知らしめんことに勉めざるべからず。然るに此一事たるや、本邦に於ては、之を實行する者極めて稀なり。人は謂へらく、强壯なる體軀を要する

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は只兵卒のみと。然れとも、日本の男子は、悉く祖國の爲に、兵たるの義務を有するにあらすや、果して然らは、各人共に兵たるに足るへき、强壯ある躰軀を有せさるへからす。而して强壯なる躰軀や單に兵たるに適するのみならす、各自其職務を盡すに當りては之を虚弱の者に比すれは其勝れるや素より言を俟たす。日本人は、歐洲各國の大臣か、其齡七十八十若くは其以上に至るも、尚矍鑠として馬上に馳聘する者あるを驚歎するにあらすや。然れとも其原に溯りて、之を吟味せは、此等の名士は、既に少年の時代より、己を强壯ならしむることに、勉たるに他あらさるを發見すへし

余は、先つ身體の强壯あるによりて得へき、主なる利益を擧け、而して後本邦人に適すへき、體育の方法を説述せんとす

一自己の健康を保持するに勉むるは、醫藥の補助によりて、生命を長からしめんとするに勝れり

二體操は身體をして强壯ならしむ

三强壯ある身體は、其强弱あるものに比すれは素より多く職務に盡すことを得へし、尚は精神上の業務に於ても、該腦髓は之を、他に比して血液を得ること多く、且疲勞すること少なきを以て、亦多くの事を成し得へし

四强壯なる躰軀を有する者は、一生中快樂を有することを多し。

强壯の感覺と、生活の愉快とは、富を樂しむよりも樂し

五强壯なる國民は、其國家に對して虚弱なるも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のより貴重なり

六強壯なる者は、虚弱なる者に比して、病に犯さるゝこと少し、假令病に罹るも、危險少なきは勿論其恢復するや亦速かなり

七人の身軀と健康とは、各人之を異にするにより、其健康を保持增進するの道、亦從ひて異ならさるへからす、殊に生來虚弱なる者、即ち日本に於ける、中等及上等社會の多數を占むる所の者に於て、愈其必要を感すへし

此の如く虚弱なる者の多きを致したる原因は、蓋し左の二因に外ならさるへし

第一時勢及生活方法の急劇なる變遷により。士の行ひたる活潑なる體育癈止せられ、之に依て男子は虚弱となり、其生子亦虚弱となりしこと

第二古來上等社會に於ける女子の生活は、身體の點に於ては全く爲すことなく、依て虚弱となりたる女子は多く虚弱なる子女を娩みしこと

其他本邦に於ては、一の弊風として虚弱の小兒は始めより體育によりて之を強壯ならしむへき道を講せす、愈其衣服を重ね、之に觸るゝは腫物に觸るゝか如くするにより、虚弱は益虚弱なるのみ適宜の體操佳良の食餌、清良の空氣は之に對する最良の藥餌たるを顧みすして、漫りに醫を聘して之に持藥を與ふ豈に歎すへきの至りならすや。而して此藥劑濫用の如きは余の數年來之に反對せしところのものなり

家庭に出入する醫師にして良からんには、此の如き虚弱なる小兒を託せられたるとき、既に其疾病

を發するに先ち、醫の能力によりて其襲來すへき危險を豫知せさるへからす。例へは、其胸膈の逆常なるは、後日何れかの危險を來たすことあるへし等のことを、豫め両親に告けれくこと之なり。本邦に於ては、胸膈の搆造不良なるもの實に夥しく此か彼の肺勞に罹るへき危險を有するものにして幼時附紐を緊縛したるに依つて來るところのものなれとも、此等の危險は、又之を避くるに難からさるあり。然り早くより衛生上の規程を應用せは、之を矯正することも容易なりとす、然れとも、不幸にして多數の醫師は、體育の非常に有効あることを知らさるなり、是れ蓋し躬から之を行ひしことあらさると、醫學校に於ても亦此必要なる事項に就て、教授することを不充分なるとに因らずばあらず。然らされは無數の疾病は、之を未前に豫防し得へきものを

尚は成人にして虚弱なる人と雖とも亦體操に依て、己を强壯ならしむることを得へし。此目的を以て「ヤーン」氏か獨逸國に於て創立したる、體操協會なるものは、非常の効を奏したり少年の時に於て、結核に犯さるへき危險を有したる、幾千のものも亦之に依つて後年强壯の人と成ることを得たるは事實なり

（未完）

新瀉文會講演

◉身体の分限

若杉喜三郎君

私も何かお調べをして緩ッくりとお話しをすれは宜いのでありますけれとも了度御通知がありましてから在行など致しまして爲めに夫等の調べを

なすことも出來ませんでしたが今日は身體の分限と云ふことに就て一寸心附けたお話しを致さうと思ひます

儘で仕事を致しますには自分の力に問ふてしませんど疲れを來すのみならず度を過ごすと年が老いて來ると身體が惡くなると云ふことは皆さん御承知の通りでありますが仕事と云ふことに就ては大別けに別けますと醫者の方では身體的の仕事と精神的の仕事と此二ツに別ちて置きます、ソレデ何の位仕事をしたら宜いか又人間は何の位力があるか皆さん御承知の通り彼の馬力と云とがある何にかするど馬力、馬力と申しますが其馬の力一馬力と云ふのは何う云ふのであるかと云ますれば、七十五キログラム、即ち一キログラムハ二百六十匁位に當る、其七十五キログラムでありますから、約そ日本の二十貫目位であります、此二十貫目位のものを一秒時の間に一メートル上げる力が之れが其一馬力と云ひます、馬はそれ位の力を持て居るけれども人間の力は其七分の一ー七ッで割ッた一ッにあたッて居る人間が仕事をするに一日八時間位の平均とするに三十キログラムから四十キログラム位の重さを一メートルだけ引ッ立てる力がある即ち一日に於てそれ位力があるので、凡そ先ッ此位の方法に從ッて人間の力を計算致しまするが八時から四時までとか或は六時までとか充分に仕事をすれば大變に疲れて來る、色々烟草を吸ふ時間もございませう、又人が來て話しをする時間もございませうが本當の仕事の時間が之れ位であれば足ッて居ります、然るに其以外の仕事をせんかならんと云ふ人は自から分限が超えて居る、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

併しながら分限と申しても各々違つて居つて相撲取りと只た机に倚りかゝつて居るばかりの仕事とは大變分限が違つて居るが兎に角自分の体力に問ふて仕事をせんかならんのである皆さんの中にも身体の分限が違ッてゐるのに仝し仕事をすると云ふは間違ッて居る、分限と云ふものは自から研究せんかならん—で醫者の方から到底申上けることは出來ない、先ッ身躰的の方を申上けますればざつとこんなものでありまするが精神的のことを申上けますれば之は腦で仕事をするのである、これも大抵何の位ならば宜いであるか、大變面倒な議論ではあるけれとも精神の中にも鈍い人は大變時間を長く使つてそうして祿な事が出來ないこれは書生の中に就て見れは能く分かりますが鋭い奴は物を習うにも先きに覺へる、けれとも鈍いものは教師の云ふことを會得することが、出來ないことがある鈍い奴は鋭敏なる人に劣ッて居るに依ッて餘計時間を用ゐんかならんと云ふことは分ッて居るが之れも矢張度を過ごすと惡いので兎角机にばかり攫まッて居ッて表向的は何處までも勉强する積りであるけれとも其眞實を搜ッて見ると左樣でなくて實際の仕事は八時間仕事につかまッて居ッても二時間位しかしない、本當に仕事をするやうになッて來ると最う眠ッて仕事が出來ぬ、能く學校の教師かいひますが家に眠むつても教場には眠らんやうにせよといひます、けれとも兎角眠るものであります、要するに此身体的の仕事は精神的の仕事は互ひに相須て居るので決して身体が弱くてそうして非常な腦を持ッて居るのはない、腦が惡いのは片輪であるから仕事を仕遂けることが、出來ない身

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

体的の仕事をするにも精神の方を一ッ考へねばならんので又精神的の仕事をするにも身体的の方を考へて見なければならん、詰り自分の身体は何の位使ッて宜いか自分に定めてお使ひになッた方が宜しい、如斯く身体的と精神的との二ッに分ッて居りますが之れは器械を使ふにも矢張此分限ー其邊を定めて遣らなければならんので之を例へは胃の如きものである、身体の中には色々に使ふものがあるけれども別けて必要なものは胃である、之を使ひまするには大抵度と云ふものがありまして飯を喰ふにも三膳喰ッて宜しいか四膳喰ッて宜しいか又境遇にも依りませうが胃の力を測ッて見んかならんので、茶を飲んだり菓子を喰ッたりするがこれは随分嫌いな人がないけれども併しながら之れも分限を考へてしませぬと必らず消化器を損して仕舞ます、あなた方は何方らかれ好きですか酒か菓子かといひますれは何うも菓子が好きだと云ふ人が多いので故に皆様に向ッて時々お話しをするのは此菓子の方であるが私の所へ診察を請ひにお出になるお方の中何にかれ好きだと問ひますれは何うも甘いものが好きだといッて居る、上戸と下戸に比べて見ると下戸の方が多いがこれは詰り胃をば使ひ過ごして居るのであらうと思ふ、兎角旨い物でありますから喰ひ過す、已に喰ひ過ごして居るから胃が餘程開きかゝッて居る、即ち充分使ひ切ッて仕舞ッた後に來るのであるからもう參ッて居るのである、成るほど菓子を澤山喰ッたり又此頃は粽なども、旨いけれども之を喰ふときは三喰に關係して來る、して見れば味ひの輕重に至ッては同じとであッて一遍旨い目すれは、一遍

惡い目に會ふのである此事に就ては時々言ふて居るけれ共世間の人は氣が附かない、醫師自ら何うも夫には注意しない樣です、私が學生をして居ッたときも氣が附くまでもそんなことをして居りましたが自分で餘ぼど困難の地位に立至ッて始めて悔ゆるのである、身体を傷めるのが惡いと云うことあらは食べ物を無暗に食べないやうにするのを冀望するのであります、身体的にせよ精神的にせよ相煩ッて居るので人間か此地球上に生活するのは詰り世渡である、腦髓を船頭と比較しますれは宜しからう、して見れは何う云ふ工合にして向ふの岸に參ッたら宜からうかと云ふことが出來ぬければ世渡ることが出來ない、これは教育上のみあらず醫學上にも關係して居るので、身体か船体——船としますれば此船が何の位い重量であるか又流れか何の位になッて居るか風が何の位になつて居りか船頭か考へて掉をさゝんがあらんと思ひます、腦髓か鈍くて寐て喰ッて又寐ると云うやうな風では仕事を仕遂げると云ふことは迚ても望むべからさるものであらうと存します、故に怜悧の人になッて世の中の手本になりたいと云ふときは必らず衛生上の心得を持て居らねばなりません、今船頭と船の事に就てお話しを致しましたが此事に就て近頃誠に好い例があると思ひますが小學校の生徒が信州の野尻の側の芙蓉湖とか呼ぶ周圍が三里もあッて中に辨天がある所がある、其處へ遠足運動に出掛けた所が先きに教師共が行ッて見たに面白いから生徒も遣ッた方か宜かろうとて生徒にそれを叫した、すると其處らに貝拾ひをして居ッた女生徒の中十三歳になる生徒が二間に四尺かある——本

間英一郎さんが二三年前に漁に使ッた船の丸太の上にあッたのを轉け落して十三になるのが號令を下し七、八ッになるのも皆進んでそれに乘ッた所が少し乘ッて出ますると船が傷んで居るものですから其傷んだ所から水が這入ッて來ましたそうです、するど中に乘ッて居た中の一人が船の縁に足を踏ん張ッて陸へ上ッたから船はそれが爲めに沖へ出て仕舞ッて他の者は上るとが出來ず水はどんく這入る到頭六人――生徒と云ふものは滿足に死を遂げたそうです、其六人の親御の心は何うであるか實に察し遣らるゝのである、そこで此遠足運動の爲めに計らずも斯云ふ死を遂げたと云ふのは一ッは生徒の頑是なき爲めではありませうけれとも一ッは貴重の生命を無定見に此船に乘せたからである、若しも生命は貴ふべきものであると云ふとを知ッたならば彼の陸へ飛上ッた生徒のやうに瞬間に之を逃るゝやうにすれば宜いのです、此小學校の生徒の死んだと云ふとは實に些細なとであるけれども衛生上に關係して居りますから一寸申上けたのである、皆さんも充分に御注意あらんとを望みます

衛生叢談

◎區役所の衛生掛

東京府知事は各區役所に對し去る六月廿日以降特に衛生掛を置き左の各項に從ひ事務を處理せしむる旨訓令を發せられたり

(一)衛生掛に於て掌理すべき事項左の如し

傳染病患者又は疑似症患者の發生及轉歸届及び

患者送院並健康者隔離○清潔方法消毒方法施行○自宅治療傳染病患者視察○傳染病患者又は死体移轉及埋葬○病毒汚染の物件處置○傳染病患者の有無診察に關する事項○交通遮斷○傳染病豫防委員に關する事項○衛生組合に關する事○地方病に關する事○種痘の普及種痘名簿の調製並貧困者施種痘○市醫に關する事項○窮民救療○學校病院の衛生○道路溝渠井戸便所芥溜の衛生○與眼病院施療入院願(死体解剖願死胎兒保存願○賣藥營業者及請賣行商○賣藥部外品營業者○私立病院産院○醫師産婆藥劑師藥種商製藥者○鍼灸治入歯歯拔口中療治接骨營業者○其他公衆衛生○衛生統計及報告等に關する事項

(二)庶務の手續は當分の内明治十九年十二月達郡區役所事務規程を準用す云々

●學校兒童發育取調

醫學士三島通良君には嘗て學校兒童發育の調査をなし之を報告せられたり今其報告中左に二三を拔萃摘録す

○身長　男女兒發育調査の報告によれば男兒に於ける發育の旺盛なる時は六年(六、六)にして次年に於て少しく頓挫し又八年(六、〇)に於て其勢を増し夫より漸く降りて十一年に至り後其勢を恢復し十三年(五、五)に至りて再び旺盛となる女兒に於ては之と異なりて最初に發育の旺盛なるは男兒に遡ること一年即ち七年(七、四)にして次年は男兒と同じく其勢一たび頓挫し再び九年(五、二)に於て其勢を恢復し十年(四、四)に至り女兒の發育は男兒に超えて獨り上昇し十二年及十三年(五、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

五—三、八)に至りて女兒の身長は男兒に勝ること一、八乃至一、二にして其十四年は固より十五年の者か何は殆んど男兒と其身長を均しく是れに因りて之れを見れば此時期は蓋し女兒發情の時期に際せるものありといふ

○體重　男兒の六年に於ける者の体重は一五、九にして其十五年の者は三五、二あり故に此年間に於ける体重の全增加額は一九、三にして各年に於ける增加の平均額は二、一四なり

女兒の六年に於ける者の体重は一五、四にして其十五年の者は三六、三即ち男兒に勝ること一、一あり而して此年間に於ける体重の全增加額は二〇、九にして男兒に勝ること一、六あり而して各年に於ける平均の增加額は(二、三二)あるにより亦男兒に勝ること〇、一八あり斯の如く男兒の發育に比して女兒の勝る所ある所以は發情期に於ける急進の發育か之に影響するものあるに由るといふ故に男兒の体重增加の勢の旺盛に至るは恐らく十五年以後に在るべしと女兒にありては之に反して十年に至り其增加の度已に男兒を凌駕し十二年に於て最も旺盛となる是れ發情期に於ける急進發育の結果たるによる然れとも此增加の勢力は恐らく十五年乃至十六年に於て著しく頓挫するものなるべしと信せらる

○發情期　經驗に依れは男兒の發情期は女子に比すれば二乃至三年間遲るを常とす是れ蓋し東西其軌を一にして敢て渝らす然れども女兒に於ては身長体重ともに十二年に於て極點に達するを認め且つ之を男兒に比すれは甚しき急劇の發育を呈す以上の事實に依りて本邦女子の發情期を判定すれ

は蓋し十二年乃至十五年の間に存在するものあることを識るべしといふ

頭圍　男兒六年の者の頭圍は五〇、二にして十五年のものは五三、二なり女兒六年の者は四九、七にして男兒に劣ること〇、五なれども十五年に至れば五三、六となりて男兒に超加すること〇、四にして十二年乃至十五年の女兒の頭圍の男兒に勝るあるは即ち女兒發情の期に適應するを以て獨り身長体重の二項が急進の發育を爲すのみならず頭圍においても亦此事實あるは理の當然なりとす

胸圍　男兒の胸圍は六年に於て五二、四にして其十五年の者は六九、一なり女兒にありては五一、二にして男兒に劣ること實に一、二なれども十五年の者に至れば七〇、六を有し男兒に勝ること一、五なり殊に十四年十五年の女兒にありては突如として乳房の發育するあるにより從て胸圍の差の極めて大なるを見るべし

指極及下肢　六年の男兒の指極は九八、〇にして身長に比して三、四短く十五年の者は一四一、八にして同じく〇、九短く身長に比して百分の二少しとす女兒六年に於ては九八、二なるにより男兒に勝ること〇、二なり其十五年の者は一四〇、七にして身長に比して劣ること百分の二なりとす本邦人は概して短身なる人種なり是れ人種の然らしむる所なるべしと雖とも蓋し跪座する慣習は多少身長に影響する所少からず前に某大隊司令官は壯丁の徴兵撿査に下肢の短くして發育惡しきものは必ず坐業を就るものなりしことを認めたりといふ而して男兒に於ける下肢の發育は全年間を通じて二二、九にして其各年平均發育增加の差は二、

五なり女兒は二一、九の發育を爲すに依り男兒に比すれば一、〇少く其各年間に於ける平均の發育增加の差は二、四なりといふ

●產婦分泌乳量

產婦の年齡（初產、經產）同人種（白哲、有色）等に由りて一定せずと雖もブヂン氏ハ二十四時間の分泌量（立方仙迷）を最高左の如く摘出せり

（一）	（二）	（三）	（四）
一、六五七	一、八六八	一、九五三	二、二七〇

分娩後一年間は逐日其量を增すものにして月經再び潮來するときは大に分泌量を減ずるが故に離乳するを適當なりとす分泌量二リットル以上なるときは同時に双兒に授乳するも不足なし本邦人の乳分泌量も歐州人と大差なきが如し其性質を比較するに本邦人の乳は脂肪少なくして乳糖多きは米食に因るとなり

●理髮所と浴湯

各種の恐るべき傳染病は多くは不潔より起ること多しと云へども又病毒媒介の機會に接するが爲めに感染を免れざるものあり理髮所の如きは其尤も危險なるものと云ふべし而して其感染すべき病毒の種類は一にして足らずといへども其尤も恐るべきは丹毒白癬、及近頃大に流行するところの禿髮病即ち頭髮の禿げて脫落するもの等なり總て皮膚病と稱するものゝ多くは理髮所の媒介をなして遂に家人知人等に蔓延せしむるに至る豈恐れざるべけんや嘗て松方伯の丹毒に犯されて一時非常に困難せられしも又理髮所より傳染したるとを知らば如何に傳毒の烈しきかを知るに足れり故に余は今世人の理髮所に就きて周到嚴密の注意を請はんと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

するは此防腐消毒にあるなり世人は少しも遠慮することなく理髮する時に當りて一切の器械剃刀等より刷毛に至るまで悉く消毒せしめ全く危險の虞れなきを見て理髮せんことを要す其消毒法たる尤も簡單にして煩雜の憂ひなし即石炭酸若しくは其他の消毒藥に浸して一々消毒するか或 時々器械を熱湯に入れ消毒せしむるにあり今日理髮所に理髮具消毒の事行はれざるは一は未だ世人の細部に迄は衛生に留意する者甚だ尠きが爲めなり之を極端より云へば消毒を爲さゝる理髮所には世人頻斥して赴かさることゝせば必らずや此消毒法の實施を見るに至り病毒の感染を防ぎ安全に理髮することを得べし故に余は充分の注意を望んで止まさるなり

○洗湯 湯屋は又理髮所に繼ぎ傳染病を媒介する所にして其傳染すべき病は各種の皮膚病、濃漏、性眼病、梅毒等其尤も恐るべきものにして此等の病毒を有する患者も湯屋に至りて其局患部を洗ひ去るは普通にて毒性の黴菌を始め濃は湯槽或 洗ひ桶等に附着沈澱するや明かなり然るに衰弱の者或は病後の人々入浴し萬一此病毒に感染することあらんか忽ち不時の難症に罹るに至るや亦知るべからず入浴後俄かに眼に疼痛を覺ゐて濃漏眼を起すが如き蓋し淋病毒の洗ひ桶等より傳染したるものにして淋病毒感染の猛烈なる實に恐るべき者なり故に西洋にては勿論支那上流社會等の如き一人浴を常とす日本今日生活の程度にありては之を改むる難しと云へども此等病毒傳染の恐るべきを知らば混浴の際は頗る注意して猥りに汚れたる溫湯などにて顏特に眼目等は洗滌せざることゝなし清淨ある溫湯を以て洗滌するを勉めて貴重なる生命を充分保護せんこと吾人の深く望むところなり

廣告

去六月廿日より七月廿日に至る入會者左の如し

◎地方會員西川かめ子の紹介により
北海道札幌區南二條西六丁目十四番地 根岸八重子
同 同大通西三丁目十番地 木田たつ子

◎會員松本梅子の紹介により
赤阪田町一丁目楓本貫子方 島こう子

◎會員口羽いま子の紹介により
神田鍋町一丁目二番地 塩島みち子
北豊島郡瀧川村八十八番地 松井すま子

◎會員清水梅子の紹介により
麹町富士見町一丁目二十八番地 植田光世子
駿河臺袋町十三番地婦人科病院 堀部きよ子
同 丹野よし子

◎事務所へ申込により
下澁谷村日本赤十字社病院 高瀬ゆき子
同 越智つね子
同 金須かめよ子
同 石田たかよ子
長崎市引地町十八番戸 毎熊かめ子

◎新潟支會へ申込により
新潟市横壹番堀 鍵富こう子
若山みと子
植木とし子
北原みや子
長谷川くま子

大日本赤十字社新潟支部看護婦養成所
太田とき子
星野しつ子
前田すか子
山田のふ子

◎轉居

芝三光町四百七十七番地へ
牛込袋町七番地へ
神田錦町三丁目二番地鈴木方へ
日本橋藥研堀二番地朝倉方へ
小石川初音町四番地へ
下谷竹町三番地、
芝區白金台町一丁目七十三番地へ
赤坂區榎坂町四番地へ
横濱十全病院へ
麹町富士見町一丁目三番地へ
名古屋市南鍛冶町三丁目白州九番地へ
神田錦町三丁目七番地へ
函館區富岡町壹番地へ
大和國生駒郡法隆寺前へ
芝區三田小山町五番地へ

大館ふみ子
大山まち子
高館さき子
塙とせ子
高野やゑ子
山川二薬子
須田すゝ子
岸美代子
早田純子
瀧川まち子
竹村てい子
鶴田梅子
小柳佳子
小柳美代野子
小柳安子
太田ゑみ子
北畠三枝子
宇敷かつ子

◎特別廣告

新潟支會員鍵富とき子は本月より特別會員となられたり

大日本婦人衞生會

私立大日本婦人衛生會規則摘要

一凡本會の目的は汎く婦女子をして人生の健康を保持するの方法を講究し衛生上の智識を開發せしめ隨て社會全般の幸福を增進するにあり

一會員たらんと欲する者は族籍住所姓名を記し本會事務所へ申込あるべし

但事務所は下谷區練塀町四十三番地に置く

一本會々員を分て修身會員特別會員通常會員の三類とし共に會費金を納むる者とす

但終身會員は一時に金拾圓以上を納め特別會員は一年金二圓四拾錢以上を納め通常會員は同金壹圓二拾錢を納むる者とす尤も會員中書生及其他事故ある者は唯雜誌料として同六拾錢を納めしむ

一男子にして本會の主義を賛成する者は之を賛成員とす尤も會費は本會員に同し

一本會の集會は七月八月を除くの外每月一回とし而て通常第一土曜日午後一時より之を開く

一每會學識經驗ある者を聘し講義演說を囑し本會々員の演說と共に之を筆記して本會雜誌に掲載し每月各一冊つゝ無代價にて之を會員に頒付するものとす

一會員は家族の婦女子又は知己の婦人を本會々場に誘致して傍聽せしむるを得

一講義演說の際男子の傍聽を禁ずと雖も會員に緣故ある男子は此限にあらず

一會員又は會員外より金圓若くは書籍物品等を寄贈あるときは本會より謝狀を送り且寄贈の品目及其人の姓名を本會雜誌に載せ報告するものとす

一會費は郵便小爲替にて東京下谷郵便局へ向け振出しある可し

但不得止場合には郵便劵を代用するも妨けなし尤も一割增とす

一入會員には會員證を附與すべきに付郵便にて申込の者は郵便劵二錢を添ふべし

一每年三月九月の總會に於て會計の收支庶務の概略幷に會員の增減等を報告す可し

一至急規則の改正を要する事あるときは豫め會員に報して臨時に之を爲すことを得

一各地方にて發起者十人以上ある者は支會を設くることを得

但其規則は本會の規則に抵觸せざる樣起草し本會役員の認可を經へし

一本會の集會々場は時々報知する者とす

一會費金は受領證を付與すべし尤も小爲替又は郵劵にて納むる者は右受領證郵送費として郵劵二錢を添ふべし然らざれば受領證は送付せざるものとす

東京下谷區練塀町四十三番地

私立大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治二十一年二月二十八日内務省許可

明治廿六年四月四日遞信省認可毎月一回二十日發行

廣告

従來本誌には役員の協議を經たるものゝ外は廣告文掲載せざる內規に有之候處來七月以降賣藥廣告を除くの外は下欄の廣告料を以て**廣告掲載**の御依頼に應すべし

大日本婦人衛生會

廣告係

歯科診察

午前八時より午後五時まで

東京日本橋區本町二丁目十二番地

歯科醫 高橋コウ

本誌廣告料		
廿二字詰一行一回	金十錢	
半頁	仝	金一圓五十錢
一頁	仝	金三圓
總て前金の事		

尚會員の廣告者へはページ數回數等の多寡に應じ相當に割引を定むべし八月本誌に廣告掲載を望まるゝ場合には前以て仝月十日迄に御申込あるべし

明治三十一年七月十八日印刷
明治三十一年七月二十日發行

發行所 東京下谷區練塀町四十三番地 大日本私立婦人衛生會

編輯兼發行者 東京牛込區矢來町三番地 田中徳三郎

印刷者 同 神田區小柳町十三番地 小高良造

印刷所 同 神田旅籠町貳丁目拾一番地 廣業館

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN